



## 2019年度 小山地区 市政懇談会

### 次 第

[日時] 2019年11月13日 (水) 19:00~21:00

[場所] 小山市民センター ホール

司会進行 市民協働推進担当部長 平林 隆彦

小山連合町内会 会長代行 関 和夫

#### ○連合会長の挨拶

小山連合町内会 会長 安達 廣美 (5分)

#### ○市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一 (5分)

#### ○職員の紹介

(5分)

#### ○市政懇談会について

(5分)

#### 第1部 地域の議題に関する意見交換

(55分)

##### 1 境川整備について

【下水道部】

##### 2 道路整備について

【道路部】

##### 3 多摩境駅周辺の整備について

【環境資源部】 【道路部】

##### 4 地域資源を活用したまちづくりについて

【経済観光部】

#### 第2部 市政全般に関する意見交換

(40分)

市長からの市政報告

#### ○閉会の挨拶

小山連合町内会 会長代行 関 和夫 (5分)

2019年度 小山地区 市政懇談会  
議事録(要旨)

[日 時] 2019年11月13日 (水) 19:00～21:00

[場 所] 小山市民センター ホール

[出席者] 石阪市長

経済観光部長 井上

環境資源部長 荻原

道路部長 福田

下水道部長 野田

防災安全部防災課長 星野

市民部市民協働推進課長 中坪

市民部市民協働推進課担当課長(地域担当) 八木

市民部小山市民センター長 金井

市民部市民協働推進課(3名)

小山連合町内会長ほか48名

司会進行：市民協働推進担当部長

小山連合町内会 会長代行

### ○地区連合会長の挨拶

皆様、こんばんは。本日はすっかり外が寒空になっております。今日は南町田のグランベリーパークのオープン式もありました。そこでの市長挨拶のときに雨が降ってきまして、私もその中にいたんですけれども、今日はひょっとしたら体調を崩して来られないのではないかと心配していたのですが、来ていただいたことを大変ありがとうございます。

今回は、小山連合町内会といたしましては議題を4つ取り上げました。この他にも案件がありましたが、個別で役所をお願いしていますので、それがないがしろにする気持ちはありません。台風19号の水害対策がかなり出ております。境川では、土のうが崩れました。また、坂本、バスの下あたりは道路が40cmぐらい冠水したと。その理由等も大体把握はしております。これに関しましても、資料を今一生懸命集めて、とりあえずは個別に対応していますが、次年度の市政懇談会に取り上げさせていただければと思います。

本日は、市長を初め役所の皆様、ひとつよろしく願いいたします。

### ○市長の挨拶

皆様、こんばんは。市長の石阪でございます。

今、安達会長からお話がありましたとおり、各地で大きな災害が起きております。相原地区の坂下で崖崩れがありまして、大きなものはそこだけでございました。実は相模原はかなりひどい崖崩れをしております。八王子は、石森市長のお話ですと100カ所以上、崖崩れがあったそうでございます。雨の降り方がもう少し多かったら境川もという状態ではございましたが、大きな氾濫、溢水、内水もなかったのも、何とかあったのかと思っております。

実は、先々週から長野市に職員が災害廃棄物の片づけに行っております。長野市の見通しでは全部終わるのに2年かかると言われておりますが、実は町田市と長野市は災害時の「災害時における相互援助に関する協定書」を結んでおります。「災害時における相互援助に関する協定書」というものは、隣町ではあまりやらないです。同じように災害が起こってしまいますから、離れている長野市と結んでおります。あとは山梨県だとか、幾つか結んでおりますが、その長野市に車と人を派遣しております。

大分寒くなっているのですが、12月のクリスマス前までの予定で、うちの職員が交代で行っております。大変なときには相身互いというのが防災協定の意味ですから、当然行っているわけですが、実は全国の市長会も、長野市だけではなくて東北、宮城とか岩手とかに派遣をしてくれという話も来ているのですが、私もそこで今手いっぱいですが、東京の23区26市は、今、全国に応援に行っております。そういう意味で、今年もそうです。去年も実は広島の方に行っているのですが、どうも災害の多い時代になったのかなということがちょっと気になっております。

今日は、その関連の話もあると思いますが、それ以外の話では、第2部で幾つか報告をさせていただきます。今日はどうぞよろしく願いいたします。

## ○出席者の紹介

### 第1部 地域の議題に関する意見交換

#### 1 境川整備について

今年5月に実施した境川クリーンアップ作戦の時に、草が生い茂っていて危険な状況でした。相模原市の津久井土木事務所に確認したところ、草刈りについては町田市が刈る部分、相模原市が刈る部分とそれぞれ決まっていたとのことでした。そこで、境川の現在の整備状況と今後の見通しについて伺います。

- (1) 草刈りについての管理状況はどうなっているか
- (2) 境川クリーンアップ作戦の時期に合わせて草を刈るなど時期を調整できないか
- (3) 現在仮土のうが設置されている箇所今後の整備計画

(4) 昨年度の市政懇談会でお願いしている、以下についての進捗状況

- ・ 神奈川県の間における遊水地の整備や、整備が進んでいない箇所の整備推進
- ・ 東京都が管理している区間の、65ミリ対応の調節池の整備計画

## 【回答】

### 下水道部長

境川整備についてお答えします。

初めに境川について簡単にご説明させていただきます。資料の「境川管理区分図」をごらんください。境川は、町田市相原町の大地沢付近を源として都県境を南下し、藤沢市の江の島付近で相模湾に注ぐ、流域面積約211km<sup>2</sup>、延長約52kmの河川です。管理区分は、上流部、川上橋から根岸橋までを神奈川県厚木土木事務所津久井治水センター、中流部の根岸橋から都県境付近の鶴瀬橋までを東京都南多摩東部建設事務所、下流部の鶴瀬橋から上高倉堰までを神奈川県厚木土木事務所東部センター、上高倉堰から河口までを神奈川県藤沢土木事務所が管理しています。

まず、(1)草刈りについての管理状況はどうなっているか。についてですが、「境川（遊歩道）の草刈管理状況図」をごらんいただきたいと思います。蓬萊橋下流から高橋までと共和橋から根岸橋の「境川ゆっくりロード」については、町田市道路部が管理しています。その他区間と河川敷内については、神奈川県厚木土木事務所津久井治水センターが管理しています。

また、相模原市が、生活道路として占用している箇所は、相模原市が管理しています。

草刈りの回数ですが、町田市と津久井治水センターでは、年2回実施しております。

(2)境川クリーンアップ作戦の時期に合わせて草を刈るなど時期を調整できないか。についてですが、津久井治水センターに確認したところ、4月から契約の手続の業務を行うことから、6月の契約となり、5月末の時期に行うことは難しいとのことでした。

(3)現在仮土のうが設置されている箇所の今後の整備計画。についてですが、「境川管理区分図」をごらんいただきたいと思います。土のう積み区間は、赤色で着色しています、大正橋から小山橋と高橋から共和橋までの区間となっています。津久井治水センターに確認したところ、管理区間の最下流の根岸橋から上流に向けて順次整備を進めていくとのことでした。また、以前から馬場橋から宮前橋の区間で用地取得交渉を行っており、2018年度末で約4割を取得しているとのことでした。大正橋から小山橋の整備を行うのは、残念ながら相当先になると聞いております。今後も整備促進の要請を行って、一日でも早い整備完了を求めてまいります。

(4)の1つ目の神奈川県区間の津久井治水センター施工の遊水地の整備についてですが、法政大学入口交差点付近から都営武蔵岡アパート付近にかけての相模原市側で、貯水量約1万7000m<sup>3</sup>を有する、風間遊水地の整備を2014年度から着手して、2021年度の完成を目指していると聞いております。

また、整備が進んでいない箇所整備推進についてですが、今年度から2年かけて、共和橋付近から下流の町田市側で、約60mの護岸工事を予定しているとのこと。

次に、東京都が管理している区間の調節池の整備状況ですが、境川金森調節池につきましては、工事現場の仮囲い設置などの準備工が完了し、防音壁設置などの仮設工事を進めております。今後のスケジュールは、当初の予定どおり、2024年5月に調節池本体、2025年3月に管理棟などの施設を完了し、調節池事業全てが終わると聞いております。

また、境川木曾東調節池につきましては、2019年6月24日に一般競争入札が開札され、2025年度末に調節池事業の完了を目指し、受注者と仮契約を締結しましたが、当該事業者が東京都発注の他の工事における「契約履行上の事故」を理由として東京都が7月30日付で指名停止としたことから、仮契約が解除となりました。今後のスケジュールについては、東京都に情報を求めているところです。

## 《質疑》

### 上馬場町内会

今、草刈のことを言っていたのですが、なぜ水面から2mぐらいは刈らないのですか。全部刈らない。上方4mの幅でずうっと刈ってあって、下のほうの2m強が刈っていないのです。なぜ刈らないのかが1点。

境川は、よく何mm対応というのですが、以前30mm対応と聞いたのですが、本当なのでしょうか。

### 下水道部長

2点ご質問をいただきました。下の部分はなぜ刈らないのかということと、30mm対応のことは説明には一切ありませんでしたが、何mm対応になっているかというご質問かと思えます。

まず、なぜ刈らないのかということは、私が管理者ではないので明確にはお話ができないのですが、河川管理者の考えとしては、基本的に流水機能を確保することを目的にします。私も多分同じ意見だと思うのですが、全体をやればいいのかという話になりますが、流量調整の問題とか、河川管理者として流水機能を損なうものだけやるということ。

それから、補足になりますけれども、私もクリーンアップ作戦にこの間参加して、一緒にごみ拾いをさせていただきました。今までは7月末にクリー

ンアップ作戦をやられていたのですが、1年前は台風で中止になったと皆さんご記憶があると思います。今回初めて5月にやりました。理由は、熱中症が大分、天候が余りにも暑過ぎるので問題があるということで、委員会さんとのお話から日付を変えたということです。

これについては、今後、クリーンアップ作戦もそうですし、治水センターさんも協賛で入っていることですので、都市部門でどこまで調整できるかわかりませんが、要は、刈ってあればごみがうまく拾えますが、草があればごみが拾えないという状況は、十分私も現地を見ていますが理解しますので、そこら辺は、今日ご意見をいただいた、後押しをいただいたということで、もう1度調整はしてみようと思います。

それから、30mm対応については、今言ったとおり、30mm対応になっております。神奈川県は30mm対応、冒頭でお話しした真ん中の東京都区間は50mm対応になっております。ただ、上流が30mmで、途中は50mm対応にして、下流が30mmになりますので、全体的に南東建さんのほうは、逆に土盛りというのですか、30mmの幅にして、氾濫を均等にするというのでやっています。東京都については、それだけではということで調節池、東京都は今65mm対応というものを山手線沿いに出しておりますので、それに将来30mmが50mmになり、なおかつ、東京都の管理区間については溢水しないように、調節池を今のところ2基つくっているということです。若干補足の説明をプラスしましたけれども、ご理解いただければと思います。

## 上馬場町内会

補足ですが、なぜ私が草をと言ったのは、10年ぐらい前にどんど焼きをやっていて、火が行って、火事になったのです。そのときは上側1mしか刈らなかったのです。去年までは下まで刈ってくれたのです。今年は刈っていないということが1点で、質問したのです。これは返事は要りません。

もう1つ、30mm対応とは昭和40年前半のときに、用地買収で取られたときに30mm対応で、小山・相原の田んぼが今は90%なくなっているのです。山も畑もなくなって、家になっているのです。だから、50mm、30mmというのは理屈が合わないと思います。

それと、もう1点、今回の台風で城山ダムが緊急放流する、下流が氾濫しなくてよかったと思ったのですが、そのとき、ふと思ったのです。もし氾濫したら、うちのほうの上の段にある城山湖、発電用のダムが満杯になったら境川に流れるのです。境川は河川改修されていないけれども、昔のままの1mぐらいの土盛りなのだけれども、そこに落ちてきたら大変なことになると思ったのです。そうしたら、氾濫もなく途中で終わったので安心したのですが、あれは発電用なので夏から秋にかけては満杯なのです。冬になると水を2割か3割、場合によってはなくしてしまうのですが。そして、あそこの流

域に今回の1時間に200mmとか300mm降られたら、オーバーするのではないかと、思って、すごく心配したのです。それが境川に来たら、たまったものではないと、これは私の意見で、回答は要りません。

## 田端町内会

30mm対応とか50mm対応という言葉の意味を教えてください。

## 下水道部長

要は、1時間あたりに、ある場所のところで何センチ水がたまるかという基準です。30mmとは、その坪みたいなものが決まっていますのでけれども、その高さというか、厚みが30mmは3cm、50mmが5cmです。意外と小さいものだと思うのですが、実際のところはそれが基準です。周りに降ったものがそこにとまるわけではなく、川に入って流れてきますから、通常5cm、50mm分が全部入っても大丈夫だよと、基本的にその流水機能をとるとというのが全国的になっています。

東京都は、ここを重要河川として平成26年度に、東京都全域で8地区だけの川を指定したのですが、平成26年に境川もその指定に入れてくれたのです。それがあったので、今言っている調節池のご質問が出ましたけれども、その機能ができる。神奈川県にも当然要請はかけているのですが、なかなか事業が進まないとかさまざまな背景の中で、町田市に対して、我々も都民ですから、そういう意味では応援をさせていただいているのかということ、若干補足しましたけれども、おわかりやすくなるかなと思って入れました。

## 沼町内会

境川に土のうを積みまして、あふれる水だけを防ごうとしていますけれども、水位をもっと下げることはできないのでしょうか。今、境川へ流れ込んでいる小さな河川がこの間の雨のときもみんな逆流してきているわけです。そうすると、沼地域とかは堤防よりも随分低いですから、みんなあふれてしまいます。

特に私が住んでいるところは尾根幹線でおりにきたところと多摩へ行く道路の、ちょうど三角地になっているようなところなのです。あそこは、昔、広場がありまして、その横にずうっと川が流れていたのです。昔は、あふれた水がずうっと上まで上がっていたのですけれども、尾根幹線ができたときに川が切れてしまったわけです。そして、そのまま暗渠になって残っているものですから、この間みたいな雨が降りますと、行き場がないからみんなその川から噴水のように水が上がりました。私が10分ぐらい前にそこへ出たときは何もなかったのですけれども、10分ぐらいしたら近所の人たちが大騒ぎしているから出てみましたら、腰のあたりまで水がつかっていました。

それと同時に、今度、尾根幹線ができて、あの下にスポーツ広場とかいろいろつくっていただいていますけれども、ちょうど陸橋があるところが一番谷間になっているのです。上から落ちてきたものと町田街道までの地区と、その道路がちょうどあそこの下が谷間になっているのですが、要するに、あの水は全部境川へ流れる予定で排水を考えているということなのです。

という、境川から逆流してきていますから、あそこがすごい池になったわけです。そうすると、あの道路の南方は低いですから、その水も、両方からサンドイッチで流れてきたわけです。だから、腰の高さぐらいまで水が上がりまして、あの辺の4～5軒は床下浸水で全部出しました。これはそのとき市の防災のほうに電話で連絡はしてあるはずですよ。

#### (司会) 小山連合町内会会長代行

要は、水位を下げるできないかという問題ですよ。簡潔にお願いします。

#### 沼町内会

はい。そのようにしてみんな逆流しますから、もっと水位を下げるように考えてもらいたいと思います。

#### 下水道部長

一概に下水道部長の立場で、できませんとは言えないです。川の整備が一番初めに、皆様安心した町にしてほしいということで、当然、私どもが整備するわけではないですが、それはこれからも継続して要望しますし、市長もちょっとこれは行かないとまずいのではないということで、神奈川県さんのほうに要請をかけた、東京都さんのほうから神奈川県に行ってもらったり、さまざまなラインでやっています。神奈川県を肩を持つわけではないのですが、さっき言った調節池と遊水地は、同じ水を遊ぶと書くのですけれども、それを風間につくりますので、これがプールに例えますと56杯分と、結構それ相当のものは一時ストックをするということがあります。

それから、下流についても2025年までにということしか、今事業計画は工事をしていったの推計ですから、はっきりその年度に本当に終わるのかと言われても私も困るのですけれども。今、遊水地はプールで言うと152杯分あるのが、実際は874ですから、2025年までにプールの大きさを722杯分が遊水地の最上流部においてふえます。ですので、下まで下がるかということと下がらなくても、ある程度氾濫はないですし、あと、内水の問題。要は、川に水を流すのが下水道の仕組みですが、川は満杯ですから入らなくなっている。

先ほど言われた沼のところは、多分道祖神さんがあるところではないかと思いますが、確かにあそこをボックスカルバートにしたと記憶があります。



下流部については水路みたいな形態になっていて、逆止弁がついていないので、川の水がそのまま入ってきてしまうということなので、それについては私どもも管理を手伝っていますので、うちの下水の分で調査をして、そこに何かできないか考えてみますけれども、ちょっと期待はできるか。今までやらなかったということは多分技術的な問題で、なかなか難しいのかと思いますけれども、一度は調査して、何らかの形で、事業をやるようならばまたご報告をしたいと。まず、調査をさせてください。

ですから、下がるというのは、そういう要因のものができたときに今よりも下がるということはありませんけれども、全く自然に下がるというのはなかなか厳しいのかと思います。ちょっとお答えになっていないところもありますけれども、よろしくお願ひします。

## 片所町内会

境川管理区分図を拝見いたしておりますが、この中に我々が一番最寄りの昭和橋が抜けている理由は何でしょうか。昭和橋にはテレメータ、水位を測定する装置が設置されているので、インターネットで10分間隔で水位を確認することができるにもかかわらず、この区分図には包含されていない理由は何かあるのでしょうか。

そして、先日の台風の件ですが、インターネットで確認した際に、10月12日20時50分に最高水位に達したという状況を我々は確認いたしました。これは私も津久井治水センターに確認したところ、同じような見解をお持ちになったのですが、その最高水位は3 m77cm。この観測地点は昭和橋の氾濫危険水位を基準として持っているのだらうと思うのですが、2 m80cmになっています。それに対して約1 m弱の水位が約四、五十分対応していたということで、非常に危機感を感じて、この市民センターに大勢の方が避難されていました。人命にはほとんど影響がなかったように聞いておりますが、今、沼の方々は大変な逆流で腰まで水位が上がったというお話を聞きまして、大変びっくりしているところでございます。

同時に、先ほど土のうの整備計画について云々ありましたけれども、この麓から数メートル下がったところ、いわゆる左岸側、東京都管理区域の堤防の土のうが大分崩れているのです。もしよろしかったら、写真を撮っておりますので、後で確認していただければありがたいと思います。

そんなことがございまして、問題意識を持つためにはインターネットというツールがありますので、この便利なツールをPRするならばこういう管理区分図にもぜひ反映していただきたいと思うところでございます。

## 下水道部長

今日お持ちした管理区分図の中にダイジェストで引っ張っている橋の名前

は、私が今しゃべった場所だけ入れています。昭和橋は土のう積み区間であって、この間崩れたというのも、私、実は相原まで自転車で、町田市役所から相模原をずっと走って、細かい場所までは今ちょっとご説明できませんけれども、大体は把握をしております。

昭和橋のところにそういうものがついているのもわかっております。それから、概略ですけれども、私どもで把握をしていますが、19号のときの10月11日から13日の昭和橋については、12日の8時に氾濫危険水位になり、13日には朝の3時31分に解除になったとか、全て把握はしています。

何で自転車で全部見るかという、神奈川県に私が言ったんです。私の目を見たことを伝えない限りは、私がただ担当の報告をもらったのでは強くないので、いろいろ説明をさせていただいているところです。

PRについては、ある程度防災のほうで氾濫危険水位をチェックしていますので、防災の無線だとかインターネットで一応配信していますが、今ご要望をいただきましたので、これについても何か改善できるかどうか考えてみるか、防災課で答えます。

## 防災安全部防災課長

今、インターネットで見ているということで、その辺の情報については防災課でも収集しております。それをどのように生かすかということは今後検討していきたいと思っております。

## 片所町内会

我々はあくまでも命を、どうあるべきかというところに視点を持っていないといけないと思います。私なんかは本当にこういう水位に達したときに、その現場へ行っていいのかといたら、絶対行かないということを我々みんな合言葉にしているのです。そのためにも、PRではなくて、現実こういう情報をインターネットでとれるところに非常に意義があるのだと思います。そういった面でこういう資料は恐らく回覧か何かで回ったときに見落とされてしまう可能性があるわけです。

その後の危機感、水害に遭った方々のお話なんかも聞きますと、大変苦労されているエリアもあるのだということを逆に理解したところでございます。どうぞよろしく申し上げます。

## 2 道路整備について

昨年度の市政懇談会で質問した以下の事項について、進捗状況を教えてください。

- (1) 南多摩尾根幹線道路延伸に伴う、周辺市道との接続について
- (2) 9月17日の堺103号線車止め撤去に伴う、交通規制を含めた対応について

(3)多摩境通り多摩境駅前交差点の渋滞対策について

(4)小山中、小山中央小通学路で使用する多摩境通り（多摩境駅前～ミニストップ町田小山ヶ丘店）の安全対策

【案①】歩道を自転車通行帯と歩行者通行帯に分ける

【案②】歩道を歩行者専用路とし、車道上に自転車ナビラインを設置する

## 【回答】

### 道路部長

「2 道路整備について」お答えします。

(1)

「南多摩尾根幹線道路延伸に伴う、周辺市道との接続について」ですが、現在東京都が当該路線の具体的な設計を行っており、今後、詳細な図面が示される予定です。詳細な図面が提示された段階で、町田市道との接続について検討を進めてまいります。

(2)

「9月17日の堺103号線車止め撤去に伴う、交通規制を含めた対応について」ですが、交通規制については、南大沢警察署が、車止め撤去後の交通状況、及び今後「小山片所土地地区画整理組合」が実施する交通量調査の結果を考慮しながら、必要な措置を行ってまいります。

また、町田市では2018年度に五差路のドットライン、2019年度にスピード抑止等を促す啓発看板の設置を行っております。

(3)

「多摩境通りの多摩境駅前交差点の渋滞対策について」ですが、本交差点の渋滞対策として2005年度、2009年度に車線数を変更するための改良工事を町田市で実施しており、引き続き現場状況を確認し、南大沢警察署と連携を図ってまいります。

(4)

「小山中、小山中央小学校で使用する多摩境通り（多摩境駅前～ミニストップ町田小山ヶ丘店）の安全対策」についてですが、まず、【案①】の歩道を自転車通行帯と歩行者通行帯に分けることですが、自転車レーンの幅員は1.5m以上のため、今の3.0m～3.5mの歩道幅員では片方向しか設置ができなため幅員が足りません。

また、歩道に自転車専用レーンを並走させるとスピードの出し過ぎによる歩行者との接触事故が大きな事故につながる危険性もあります。したがって通行帯に分けることは困難であります。

次に【案②】の自転車ナビラインの設置については、自転車が安全に安心して通行できる道路環境整備の一環として、自転車レーンの設置を自転車レーン設置計画に基づき進めてまいります。

当該路線については、自転車レーン設置計画の位置づけはございませんが、現計画の見直しや次期整備計画の策定時には、整備路線の1つとして検討してまいります。

## 《質疑》

### 中村町内会

1つは、歩行者専用の道として自転車ナビラインを設置するという②の提案です。実は、石阪市長のあの鶴川のあたり、芝溝街道というのですか。何kmにわたって、もうついています。私はあそこをよく通るのですけれども、やはり歩道上を自転車が行くよりも車道のほうへ、多摩境通りは結構、広いとは言いませんけれども、可能ではないかと私は思っております。

もう1つは、多摩境通りの渋滞。私はミニストップの前で週に3日から4日、朝、通学の方々の見守り隊として立っておりますけれども、リニア中央新幹線のダンプが、正確には7時10分から入ってきます。8時ごろまで上りと下りにダンプの影響がありますので渋滞に遭遇するということです。私たちから提案した議題ではないのですけれども、リニア中央新幹線の北側、立て坑を上小山田に今つくっております。北側の道路を工事車両道路としてつくる計画案があるとJRからも提案があったのですけれども、その件について現在どうなっているのか。2011年にはそこを開通させるのだという説明が私たちにあったのですけれども、あその土地を持っている方々との話し合いがまだ進んでいないと聞かれておりますので、この議題にはないのですけれども、その点を説明できればお願いしたいと。

2点についてです。よろしく申し上げます。

### 道路部長

まず、前段のナビマークです。本来、自転車は軽車両といいまして、車道を走らなければいけないのです。ただ、あその歩道につきましては、3mから3m50cm、普通は2mぐらいが平均的な歩道の幅ですけれども、それよりも広いということで、自転車の方も歩道を走っていいですよという標識が今立っている状況です。

現状では、それで事故が確かに起きていますから、先ほどの案②にありますとおり、自転車はやはり車道を通っていただく。そのためには、ナビマークもあるのですけれども、今、私どもの市で行っている路肩の部分に青いペイントをする、いわゆる自転車レーンを設置することが、一番安全なのかということなので、そちらのほうで今後進めていきたいと考えております。

もう1点の立て坑の北側の道路の関係ですが、申しわけございません。今日は我々の担当が来ておりませんので詳しいことはわかりませんが、現状としては交渉中であるということで伺ってはおります。

## 上馬場町内会

議題に載っていないので、意見として聞いていただければ結構でございます。

馬場から尾根に行くところから、衣料品のしまむらの内道があるのです。その中で白線、路側線というのですか、あれが北側しかないのです。そうすると、子どもが学校に行くときは右側通行、帰りは白線の中を通るので左側通行になるのです。ですから、両側につくってほしいというのが1点。

そのときに、私、気になってしょうがないのは、U字溝を含めて1 m 20～30cmの白線の幅より、車が通れるように真ん中に2 m 50cmをあけて、両側に白線を引いてしまう。住宅地の5 m、6 mの道に白線を引くのであれば、大型車でも2 m 30cm、普通車は1 m 70cmですから、真ん中を通れます。前から車が来ればよければいい。そうすると、歩行者と自転車が安心して通れるし、脇から車も飛び出しがないので非常にいいと思います。それは私の意見です。回答は要りません。

もう1点、私が8年ぐらい前に町内会長をやっていたときに、常盤まで抜ける尾根緑道を整備するという話があって、しつこく私は言って、馬場の上は大体7 mの交互通行だったのです。あれから先が相互通行、4.5 mの真ん中に分離帯を置いてという。4.5 mですと、今の中型車は2.3 mありますから、ごみ収集車とか幼稚園、また、大型車がとまったら脇は通れませんよ、普通車も通れませんよと言ったら、検討しますと言っていたまま、うわさによると、両がけに分けてやるというから、僕はあれを、6 mの生活道路とすれば、今使っている大型車が通行できるのではないかと、既得権が保障されるのではないかと考えております。4.5 mだと、1台とまったら通れなくなります。

以上です。それは意見としてです。

## 上馬場町内会

歩道を、生徒も自転車も両方通るということで案をつくったのですが、あくまでもそこに自転車専用道路を設けるという意味ではないのです。つまり、3 mの中心のラインを引いていただいて、自転車が来たときに生徒は右なら右に寄りなさい。自転車が来ていないときには少なくとも全部通っていい。ある場面、場面で右に生徒が通過したり、自転車が左側を通過したり、そういう意味なので、専用道路ではないので、できるのではないかと我々は思ったわけです。

車道に自転車道路を設けるというのは大変結構なものですが、それがどのぐらいかかるのか。途中で途切れてしまうのではないかとという心配もありますので、ぜひ、これをもし確実にやっていただければなら大変ありがたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

## 道路部長

今の歩道のセンターに白線を引くということですが、余り見たことないので、この辺になると規制の関係がかかってきますので、警察の意見が必要になってくるかと思えます。この辺については、南大沢警察署と相談をしてみます。ただ、普通そういうものはないですから、難しいかもしれないです。その線は交通規制上、何なのだという事になると思うのです。

## 上馬場町内会

府中でやっている、こういうケースがあるのです。現実にはやっているわけです。

## 道路部長

でも、通行帯になっていますよね。

## 上馬場町内会

それは消してもいいですけども、そういうこともありますので、ぜひひとつ進めてください。

## 道路部長

これは南大沢警察署と相談をさせていただきます。

自転車レーンについては計画に入れていきたいと考えています。はっきりした時期は言えませんが、できるだけ早くやるように頑張りたいと思います。

### 3 多摩塚駅周辺の整備について

- (1) 2017年度の市政懇談会でお願いした指定喫煙所の設置について、一度現場立ち合いをした後、連絡がありません。その後の進捗状況を教えてください。
- (2) 朝の通勤・通学時間帯は、家族の送迎の車でバスターミナルが大変混雑します。駐車スペースを確保することはできないでしょうか。
- (3) 来年オリンピックのロードレースがあることもあり、関連イベントが開催されます。駅前広場の整備計画はありますか。

## 【回答】

### 環境資源部長

多摩境駅周辺の整備についての(1)現場立ち合い後の進捗状況についてお答えいたします。

このたびは、2018年2月1日の地元の方との現場立ち合い後、長い間、市

からのご連絡を差し上げておらず、申しわけございませんでした。

2017年度小山地区市政懇談会の後、2018年2月1日に多摩境駅周辺の吸い殻等の状況確認を行うため、地元の方と市とで現場立ち会いをしました。その際、美化推進重点区域及び道路等喫煙禁止区域の説明や、指定喫煙所を設置する場合を想定した現地確認もあわせて行いました。

この現場立ち会いをした後の進捗状況としては、啓発活動を始めることとし、2018年3月2日に、多摩境駅周辺でポイ捨て禁止のチラシを入れたポケットティッシュの配布や清掃を行いました。この取り組みは、2018年4月26日、2019年4月22日にも実施いたしました。

さらに、多摩境駅の駅前広場利用者にごみのポイ捨て防止を呼びかけるため、2019年6月14日に駅前広場にポイ捨て禁止の啓発看板を新たに3枚設置しました。

今後、小山連合町内会会長に相談をさせていただき、年明けの1月までに、地元の方々と話し合いの場を設けたいと考えています。その場では、指定喫煙所の設置等について、意見交換をさせていただき、多摩境駅周辺を、ごみの散乱等がないような、きれいな町にしていくための検討を進めてまいりたいと思います。

## 道路部長

「3 多摩境駅周辺の整備について」お答えします。

(2)

「バスターミナルに駐車スペースを確保してほしい」についてですが、駅前広場内は駐車禁止区域であり、その区域内に一般車両用の停車区画を設けると、禁止している駐車を誘発することとなるため、明示することはできないと警視庁から伺っております。

駐車禁止の交通規制はかかっておりませんので、交通ルールを守ってご利用いただきたいと思いますと考えております。

(3)

「駅前広場の整備計画」についてですが、オリンピック起因の新たな整備計画は、地上、地下とも計画はございません。

## 4 地域資源を活用したまちづくりについて

小山地区には境川ゆっくりロードや尾根緑道など、自然と触れ合うことができるスポットがあります。こうした小山地区の自然や風景を再発見し、魅力を情報発信していくまちづくりについて、市はどう考えていますか。来街者の増加に向けて再整備し、地域の活性化につなげていくことはできませんか。

## 【回答】

### 経済観光部長

まず初めに、今年の夏の、東京2020オリンピック自転車競技ロードレースのテストイベントの開催に当たりましては、小山地区の皆さまに多大なるご協力をいただきましてまことにありがとうございました。

来年の本大会では、レースと同日に「ロードレース応援イベント」の開催を考えており、先月の10月8日には、町田市観光コンベンション協会、町田商工会議所、町田市町内会・自治会連合会、町田市農業協同組合及び小山地区・相原地区の関係者の方々により「ロードレース応援イベント実行委員会」が立ち上がりました。

実行委員会では、白山公園と町田市農業協同組合堺支店の両会場でイベントを開催するとの話し合いがありました。

皆様におかれましても、一緒に考えたい、手伝いたいなど、ご協力いただける方がいらっしゃいましたら、ぜひこの輪に入ってお力添えをいただければと思います。

さて、小山地区における地域資源を活用したまちづくりについてですが、主な取り組みとしては2つございます。

まず1つ目は、町田市観光コンベンション協会が「町田観光ガイドブック～歴史・自然・文化財をめぐる16コース～」を発行しており、その中で小山地区を紹介する2つのコースを掲載しております。

2つ目は、「境川ゆっくりロード」や「尾根緑道」、「小山内裏公園」などをルートとするガイドウォークツアーを開催しており、毎回多くの方にご参加いただいております。

また、同協会では、「小山・小山ヶ丘・小山田地区観光エリアマップ 尾根緑道を歩こう！！」という観光エリアマップを作成しておりまして、尾根緑道はもちろんのこと、緑豊かな都立小山内裏公園や片所谷戸などの、小山地区の魅力ある観光資源を掲載しています。このマップを市内外のイベント等で配布することで、小山地区のPRと来街者の増加につなげていきたいと考えております。

今後も引き続き、これらの取り組みを、町田市観光コンベンション協会と連携しながら継続していくことで、小山地区の地域活性化につなげていきたいと考えております。

## 《質疑》

### 下馬場町内会

ご回答ありがとうございました。

市でも観光コンベンション等を通じながら、イベント、ガイドブック等で小山地区、町田市全体のシティセールスにお努めいただいていると思います



が、本日は小山地区の市政懇でございますので、その辺を含めてひとつご質問をしたいと思っております。

ご承知のとおり、小山・小山ヶ丘につきましては、京王線の延伸以後、都市化が進んでおりますし、先ほど道路図にもありましたように、相模原駅北口との仮設道路、またはリニア中央新幹線の神奈川駅の設置、小田急多摩線の延伸等々、ポテンシャルが高くなり、住む方も多くなっているところでございます。そういう中でもやはり貴重な自然が残るこの地域、豊かな自然の保全と景観、尾根緑道から見る丹沢の山々の夕焼けなど、本当にインスタ映えするような景色でございます。そういうものを今後のまちづくりに生かしていけないかというようなご質問でございましたが、今、市でも基本計画、基本構想ということで、まちだ未来づくりビジョン2040の策定作業に入っているところでございます。そういう中で、町田市全体の将来像を描くとともに、地域の活性化、地域の魅力をもっと生かした地域の構想づくり、まちづくりをしていく必要があるのではないかということで、今日は企画政策課が来ていないので何とも言えないのですが、そんなまちづくりにつなげてのご質問もさせていただきたいと思っております。

やはり地域特有の魅力、資源を核としたまちづくりがそこに人を呼び寄せたり、産業を起こしたり、地域の活性化をすることによって町田全体のパワーになっていくということで、いろいろなイベントをガイドブックでお知らせするのもいいのですが、小山・小山ヶ丘地区、町田に10地区ですか、ある中でのそれぞれが力をつけていく必要があるかと思っております。

特にここ的小山・小山ヶ丘地区につきましては、公共施設も少ないものですが、緑とか境川、尾根緑道等々を活用した中で、お年寄りにはきついのですが、坂が多い町ということで、坂をめぐるまちづくり、町めぐり、そんなものも1つのテーマにできるのかなと思ったり。それから、どんどん焼きだとか地域の催事が多くございます。身近な農地、地区協議会のほうでやっていますガーデニングなども地域の方にはなかなかまだ知られていないような状況もございます。そうした資源をさらに活用した中でのまちづくりをぜひお願いしたいと思っております。

新しく住む方も、この地域を知ることによって、ふるさと意識、定住意識がふえるということもございますので、繰り返しになりますが、今後行います基本構想、基本計画を策定する中で、地域版のもっと身近な基本計画、まちづくりにつながるような計画づくりをお願いしたいと思っております。

## 中村町内会

道路部にお聞きしたいのですが、尾根緑道、いわゆるリニア中央新幹線のとときにケヤキを10数本切った。市長の答弁では、そのかわり、公園とかどこかに植樹をするのだというお話があったのですけれども、それ以降、今年の

9月ごろですか、いわゆる桜美林のグラウンドがあるところから桜台、小山田のほうへ抜ける緑道ですけれども、ケヤキが5本植わっているのに3本切られているような状況なのです。6割ぐらい、どんどん切っているのです。

ある人に聞いたら、台風で倒れたのかなとかいろいろ言われたのですけれども、せっかくのケヤキの大木をなぜ切ってしまったのか。何か計画があるのではないかという話が地域の方にはあったのですけれども、説明できればよろしくお願ひしたいと。

## 道路部長

尾根緑道の整備工事の中の一貫で行っています。これは地元の方々とも一緒になって考えて、尾根緑道をどう整備するかということで、過去3年、4年ぐらいかけてこの形ができてきたのです。その中で、あそこの景観を新しいものにするには、今のケヤキの密集した状況では景観が保てなくなってしまう。景観がつかれなくなってしまうということで、計画的に今回伐採をしました。それで、今度はまた違う木も植えたりして、公園チックな緑道を今度つくっていくようなことで、今行っています。今年度は伐採だけなのですけれども、来年から実際の道路の築造に入っている状況でございます。

## 上馬場町内会

お願いでございます。尾根緑道を、私、腰を痛める前は馬場から16号まで歩いて、境川へ回って、月3回ぐらいやっていたのです。その中で、丹沢連峰についての説明があるのは小山内裏公園の中だけ。ほかにはない。ですから、先ほど尾根緑道を歩こうとか、尾根緑道をどうのこうの言っていますけれども、あそこに丹沢の山の説明、あれが大山、あれが丹沢、毘盧ヶ岳、富士山が見えますと。富士山も、馬場から三ツ目まで、形が全然違うのです。写真でいいですから、そういうものをしたり、それと、石のベンチでいいですから、1キロ分ぐらいに置いていただけると休めるなどというものがあります。そういう細かい整備を特にやっていただきたいと思います。

特に、私は馬場なのですが、ちょっと高台なので南アルプスが見えるのです。常盤の種入から明らかに見えますので、そういうものも知っている人は知っている。知らない人は知らないなので、そういうPRをぜひお願いします。これはお願いだけでいいです。

## 第2部 市政全般に関する意見交換

### 市長からの市政報告

それでは、市政の報告ということで、幾つかお話をさせていただきます。まずは、〇ごと大作戦。この地域の皆さんにもいろいろやっていただいて

おります。本当にありがとうございます。○ごと大作戦、実は市役所が中心にやっているわけではなく、実行委員会というものがございまして、実行委員会の委員長は商工会議所の会頭、副委員長は町内会・自治会連合会の会長に引き受けていただいております。

市役所は何をしているかという、ある程度お金が必要なイベントもありますので、そういうお金に補助金を出すようなこともやっていますし、あるいは広報の担当から、イベントの紹介をして、参加をしていただくということをやっております。どのイベントに補助金を出すかとか、そういうことも市役所では決めていなくて、会長と会頭が中心になってやっている実行委員会などで決めているのです。そういう意味では、市民の皆さん、あるいは団体が中心になって、この○ごと大作戦を進めております。つまり、平たく言うと、市役所は、お金は出すけれども口は出さないというやり方でやっております。

これからも、どんどんいろいろなアイデアを出していただいて、2020年までやりますので、よろしくお願いをしたいと思います。

次に、町田市地域活動サポートオフィスがこの4月にできましたので、それをお話しさせていただきたいと思います。今日お配りしている資料の中にサポートオフィスは何をしているのだと、実際にやっていることを幾つか紹介させていただいております。町内会・自治会の応援もしますけれども、それに限らずいろいろな団体の応援もする。あるいは団体が持っている知識をさらに強化するというものです。例えば、どこかと契約するときの考え方とか雇用、その団体が誰かを雇うときの社会保険、労務関係、あるいは税金、申告といったことなどもこのサポートオフィスに相談していただければ解決する、こんな役割を持っております。それがこの4月にできましたので、後ほど見ておいていただければ、いろいろなセミナーもやっておりますということです。

先々週、ドイツに行ってまいりました。子どもサミットというのを見してきました。そこでは子どもたちにやさしい町とはどういうまちかという議論をしてまいりました。日本では、5つの自治体が子どもにやさしいまちづくり事業を日本ユニセフ協会に指定されたというか、やってくださいということで、今、子どもたちにとってやさしいまちは何だろうという検証、チェックをするというスタイルをしております。その一環として、例えば再来週、事業別評価、選択をする、あるいは評価をするという会議があります。そこは、今回は6事業について全部、高校生が入ってこれはどうだという議論をするということをやっています。つまり、大人が決めてこれをやろうということではなくて、子どもたち自身が意見を言い、それに対して、こうしてくれ、ああしてくれということをする仕組みを町田市でつくっています。そういうこともあって、私自身は、ドイツのケルンではその話もしてきました。

ほかの国の市長さんは、あまりそういうことはやっていないというお返事をいただいたり、それはいいな、参考にしたいというご意見もいただきました。お世辞かもしれませんが。とにかくそういった子どもにやさしいまちづくりをしていこうということで、やっております。

難しい話ではなくて、多分皆さんご存じのとおり、子どもの居場所というのでしょうか、子どもセンターや冒険遊び場、まちともなどたくさんやっているそういったことも、日本の代表する市としてドイツに、国連の会議に行ってきましたということで報告をさせていただきます。少し概要だけ、今度の15日、あさっての「広報まちだ」のカワセミ通信のところにちょっと書いておきましたので、またこの件はそこで見ていただきたいと思います。

それから、先ほど少しお話がありました、オリンピックでロードレースの話がありました。オリンピックというのは、石原都知事が誘致活動をしたときに、コンパクト五輪、選手村から8kmに全部の競技会場をつくる。したがって、選手に負担をかけないということで、ぜひ東京でやりましようと言ったのですけれども、マラソンと、海でやるヨット、自転車のロードレースは当然都心部でやるわけではないですね。ですから、この2つだけが、言ってしまうと都心部ではないところでオリンピックが見られるということでした。ですが、1つだけ札幌に行ってしまったので、この辺で見られるオリンピック競技はロードレースだけになってしまいました。ただ、ここを通るといって、何とかオリンピックを盛り上げていこうということで、先ほど来のお話だったと思います。

相模原市の413号線、道志みち、道志へ抜けるところは崖崩れがかなり起きておまして、このままの状態では通れないとオリンピックが来なくなってしまうということで、本村市長が必死になって、今、絶対に間に合わせるということで、崖崩れの対策をやっていきます。場合によっては、町田市も応援しなければいけないかなというぐらいですね。マラソンも札幌へ行ってしまっただけで、ロードレースもここでできなくなってしまうと大変なことになってしまうので、頑張らなくて、もしかしたら応援しなければいけないかなという状況になっています。八王子も先ほど言いましたように100カ所ぐらい崖崩れがあるので、八王子からは応援できないので、多分、相模原の応援をすとなると、うちぐらいかなと思っています。

それから、オリンピックについては、ホストタウンといいまして、応援する国を決めています。町田市は2つ、南アフリカとインドネシアの応援をしています。おとといまで、インドネシアのパラバドミントンのチームが旭町の体育館で事前キャンプをしまして、これは1年前の国際大会の練習に旭町の体育館を使っています。今、代々木で国際大会をやっていまして、多分来年も、この時期よりちょっと前の9月のパラリンピックのキャンプとしてやるということになっています。

キャンプは、それだけではなくて、南アフリカもキャンプをやります。それから、中国も町田市でキャンプをやるということになっています。つまり、インドネシア、中国、南アフリカがオリンピック・パラリンピックのキャンプを町田でやるということになりました。

インドネシアのチームもそうですが、小学校、中学校に行っていたり、小学生、中学生に来ていただいて一緒に練習をするということをやっていると思いますので、子どもたちにとっては直接オリンピックのアスリートと交流するチャンスができていくということで、ここでキャンプを張るだけでなく交流もしていただけるので、それは進めていきたいと思っています。

それから、幾つかの公園の整備についてお話をさせていただきます。

まず、薬師池公園ですが、今は町田薬師池公園四季彩の杜という名前になっています。今井谷戸という交差点から袋橋方面に上がっていった左側に、今、ウエルカムゲートという、正確には違うのですが、道の駅をつくっています。4月にオープンすることになりまして、農協さんからはアドバイスをいただき、農家さんは、そこに供給する野菜の作付けをしています。

実を言うと、農産物の端境期みたいなものがあるって、そういうときには町田産ではないものをどうも並べるようになると思います。行ってみたら何も並んでいないのは困るので、ほかのところから入れたものを入れるのではないかと考えています。全部の季節を押しなべて町田産だけでやるというのは、どうもできないらしいです。そこが来年4月にオープンします。レストランとか、ちょっとしたファストフードといったものとか、もちろん駐車場とかトイレといったものもできることになっています。

次に、野津田公園ですが、観客席の増設工事を今やっております。あと1年と4カ月ぐらいかかるのですが、今、1万人収容なのですが、1万5000人収容にする、工事をやっております。あそこはゼルビアの本拠地ですが、もともとゼルビアは立ち上げ当初、小山FCが使用しているグラウンドを使っていたので、そういう意味では小山地区になじみのチームだと思えますが、そのゼルビア本拠地として野津田公園を今整理をしております。

それからもう1個の公園、芹ヶ谷公園については、昔の都営住宅跡地のところに駐車場とグラウンドが今できて、トイレもできています。ただ、全部はできていないので、4月にフルオープンします。その下、いわゆる芹ヶ谷という谷なのですが、谷については、あと3年ぐらいかかって整備をするということで、今どんな芹ヶ谷公園にしようかという話をしているところです。

それから、南町田駅が南町田グランベリーパーク駅になったのですが、10月から東急電鉄の急行が平日も含めてとまるようになりました。それで、南町田グランベリーパークが今日オープンいたしました。グランベリーパークは、年間1400万人の来場者を予定しているとのことで、今日も5万人を超え

るお客さんが来ているのではないかと思います。初日だからということもあるのでしょうけれども、今日は車がほとんど動かなくなりまして、車の人は帰ってくれということになってしまったようですので、行っていただきたいのですが、車ではなくて電車で行っていただきたいと思います。

駅をおりたところがすぐにグランベリーパークというアウトレットモールですから、電車で、よろしく願います。園内が混みますので、それはそれで覚悟をいただきたいと思います。

12月14日、1カ月後にスヌーピーミュージアムができます。シュルツさんという漫画家が50年ぐらい描いているのですけれども、私もその漫画を読みました。このミュージアムが14日にオープンしますので、今度は子どもたちもたくさん来て、もう1段混むかなと思います。迷子にならないように、子連れで行くときはご注意ください。ひどいときは人混みをかき分けるような状態に、今日もなっていましたので、お正月休みを過ぎないためかなと思います。

それから、あそこは北口に駅前広場ができていますので、今はもうバスであそこに入れるようになっていきます。

さて、次は熱回収事業、ごみの問題です。ごみの問題については幾つか問題を抱えています。といいますのは、現在、下小山田地域で進めている新しい清掃工場の建設はおかげさまで順調に工事が進んでおり、再来年の年末、つまり今からちょうど2年1カ月後に完成して、今の工場から新しい工場になります。また、ビン、カン、ペットボトル等の資源ごみ処理は、現在南の地域、鶴間地域で容器包装プラスチックの分別収集を行っておりますが、そのほかに2カ所、施設の整備を計画しています。

1つは、相原地域の武蔵岡、ゆくのき学園の東側の土地を買収するという事で計画して進めているのですが、なかなかスケジュール通りに進んでおりません。実は、今言った清掃工場の稼働と同時に相原地域にビン、カンとプラスチック等の処理施設をつくる計画で進めていたのですが、大分おくれそうだということで、大きな問題となっています。

もう1つは、JRのリニア新幹線の非常口というのでしょうか、立て坑の予定地の近隣にビン、カン、ペットボトル等、プラスチックの処理施設を計画しています。こちらのほうも、関連事業や用地取得に向けた調整に時間を要しており、用地取得が進んでいません。したがって、この地域の、小山ヶ丘については多摩ニュータウンの工場でごみ処理を行っており、発泡スチロール等の分別方法が他の地域と異なる点もありますが、それ以外の地域はまだまだプラスチックも一緒に収集していますので、プラスチックを分別して収集するのは2025年以降になってしまうという問題を抱えております。

また2年2カ月後に稼働予定の新しい施設では、燃やせるごみとして収集したごみを、機械で生ごみ、紙類とそれ以外のごみに分けて、生ごみ等から、

メタンガスを発生させる発酵工程に入れて、ガスエンジンで発電をするというプラントも今つくっています。日本の中では幾つかあるのですが、関東地方、首都圏では家庭からの一般廃棄物として収集した生ごみを使って発電する施設は町田市が初めてです。つまり、資源ごみではなく、普通の燃やせるごみとして出したごみを焼却して熱回収して発電するだけではなくて、生ごみについても資源として活用し、発電に使うということになっています。

次に、子どもの話ですが、保育園の待機児童です。小山地域、小山ヶ丘地域は大分落ちついてきましたが、それでもまだまだ待機児童がいます。ただ、待機児童はほとんどがゼロ、1、2歳だけです。3歳以上はほとんどいません。特に1歳は、育休明け、育児休業で1年なら1年休んだ後に入る1歳が一番激戦区となっています。これについては、2021年、つまり再来年4月に解消しようということで、小規模保育所を3園、認可保育所を1園つくる計画で今進めています。実際に全くゼロになるかどうか保障はないですが、一応、今年4月の時点で127人のゼロ、1、2歳の待機児童があったので、今、150人ぐらい計画していますので、何とか行かないかということでやっています。

ただし、先月から3歳以上の幼稚園も含めた保育が無料になりました。ですから、この辺はまた保育に預けるニーズが上がってくるのではないかと思います。ただ、ゼロ、1、2歳は無償ではないです。ゼロ、1、2歳は一定程度の所得水準に行っていない方は無料、ある一定程度の人は無料ではないので、いきなりということはないのですが、そういうことがあるかと思いません。2021年4月にゼロにするということで間違いありませんとなかなか言えないのですが、今、計画としては2021年4月に待機児童解消を実現しようということで進めております。

それから、中学校の給食の話です。中学校の給食は、今、1校か2校ずつ、1週間だけ無料で給食を体験してもらっています。お弁当を毎日業者さんに学校へ運んでもらってみんなで食べるということをやっています。現在給食を頼む人が少ないので、とりあえず無償で1週間食べてみてくださいということをやっております。少しずつ上がっていくのかと思って、実際、9月からやっていますので、給食の注文がふえているのかと思います。

それから、いわゆる学校の体育館、小中学校が全部で62あるのですが、ここにエアコンを入れるという作業を始めました。これは来年、2020年度の予算で、今予算編成中ですからまだ幾らかかるかわかっていないのですが、2020年度と2021年度、2カ年かけて62校全校の体育館にエアコンを入れるということで進めています。実際に地震だとか水害だとかで避難した場合に、暑くてどうにもならない。体育館に入って熱中症になってしまうということもありますが、主には小中学生の体育の授業、あるいは部活で体育館を使ったときに熱中症にならないようにということで、そちらがメインです。災害時は

副次的な効果ですが、停電時以外は避難施設としてもエアコンが機能する。一般の授業の段階でもエアコンを体育館に入れるということでやっています。既に小中学校の普通教室や特別教室のほうは終わっていますので、体育館をやればエアコンが入るということになります。

ちなみにという言い方は変ですが、東京都内の市は大分こういうことが進んでいます。全国レベルで言いますと、ほかの県の場合、7割ぐらいの小中学校はエアコンがあって、3割は授業をやっている普通教室にないのです。体育館は全くそういうものがないのですが、普通教室だけでもまだ入っていない県のほうが圧倒的に多いのです。そういう意味では、東京の場合エアコンの整備は、普通教室は全部終わっていますし、さらに今体育館もやろうとしておりますので、大分違う水準になっているかと思えます。

それから、高齢者施設の問題です。この地域にも特別養護老人ホームが幾つかあります。相原地域と小山地域でかなり整備いたしました。町田市内に特別養護老人ホームを多く整備しましたので、町田市では今、特別養護老人ホームにはそれほど難しくなく入所できるようになりました。昨年度は申し込みから1年以内で入る方が大体9割です。10年前は45%だったのですが、この10年で90%まで上昇しました。つまり、お申し込みから半年、1年で入所できる方もたくさんいるということで、大分改善されているかと思えます。ただし、これも実は東京都内では珍しいケースでありまして、青梅市、あきる野市、八王子市などは別ですが、立川市から東の地域は、町田市のように1年以内に市内の特別養護老人ホームに入所できる市はないのです。23区はとて地価が高いところなので、特別養護老人ホームそのものが整備できません。

23区の場合は、群馬県とか栃木県でないと入所できないと聞いています。ですから、町田市のように、この地域で、しかも1年以内で入所できるというのは非常に珍しいというか、それくらい小山地域、相原地域の皆様にご協力をいただいた結果が出ているかと思っております。

幾つかお話をしましたが、何でも結構ですので、今お話ししていなかったことも含めて、皆さんからご意見なりご質問をいただきたいと思えます。以上で報告を終わります。

## 《質疑》

### 地区連合会長

済みません、私からちょっと最終的なお願いがございます。

町田市は、近隣に相模原、八王子等ございます。また、施設に関しましても内裏公園等、東京都が管理している施設等もあります。一番身近で言いますと、境川の問題1つ取り上げそうですけれども、地元の人が厚木土木事務所、津久井治水センターに問い合わせをして、先ほど2mだけしか刈ってい



ないという草刈りの話も出たと思います。これに関しまして相模原側は5mカットしているけれども町田側は3mだと。これはなぜそういう基準として出たのか。私は今までも治水センターにお願いしております。

JR東海の件もそうなのですけれども、道路の件1つをとってもそう。木を伐採するに関してもそうです。全部、問い合わせがあって、一応それなりに受け答えさせてもらっております。それで、JR東海さんも、いわゆる市とのお話があって、うまく進めていると。それに当たっては、とにかく近隣、該当する町内会には会長さんに連絡をとり、必ずその進捗等の説明をしてくださいというお願いをしてあります。

これは我々サイドでやるのも限界があると思うのです。こういうものに関しまして市のほうに問い合わせをする場合、ええ、今やっていますだけで済まされてしまうと、全然どうしようもないと思うのです。結局、こういう我々のレベルで話していれば、ちょっと語弊がありますけれども、言う段階があるのであれば、またその理解も可能だと思いますけれども、全く行き渡らないと、1週間に1遍ぐらいずつそう言われるのです、あの件、どうなったと。

これは、今やっていますと言うしかない。しまいには、それ以上になりますと、こちらからその担当のほう、JR東海なり治水センターなり、南東建なりにやらなければいけないと思います。それで、本当に大変でしょうけれども、警察ひとつ取り上げたとしても、南大沢警察署の確認もとらなければいけないでしょうし、はっきり言って、ライン1つの問題もそうなのです。役所のほうに電話したら、それは警察庁だと。それで突っぱねられてしまうと、極端に言えば私もそれをやったのですけれども、逆にこちらから今度は警察署にお願いするしかないわけです。

それで、半年に1回の順番制度。下手すれば1年かかります。これは子どもが通学路として使うのですから大至急やってくださいという形をお願いして、スピーディーにやってもらったこともあります。こういう場合の町田市の対応といたしましては、こちらから提案されたものに関して同時進行で、極端に言えば町内会と市が一体になって、そちらのほうにお願いしていただけるのかどうなのか。

確かに、皆さんの話を今聞いていますと、全部隣接しているような箇所の話だと思うのです。ですから、これは、ただ、今検討中ですが、極端に言えば、八王子に言っています、相模原のほうに言っていますというだけではなくて、ある程度の期間がたちましたら、それはそれなりに回答を出していただければと思います。総体的にまとめに入ったみたいな形の話になりましたけれども、一応その辺をはっきりしていただければと。

本当に感じた人はダイレクトに電話して言ってくださいと言われても、確かに突っぱねられてしまうというような話も聞いております。ですから、全てが万事こちらでまとめたらいいのか。あくまでも、これは町内会レベルの

段階での、今、市にお願いするのもその時点になってしまいます。町内会でやって、決して議員でも何でもありませんので、それなりのとり方というか、それは非常に難しいところがあると思いますので、その辺をもう少しスムーズに対応していただければ、市民の人たちも安堵するのではないかと思いますので、済みません。お願いいたします。

## 市長

ありがとうございます。地域の方が直接警察に言うとか治水センターに言うというのは非常に、技術的な用語も含めて、なかなか話がしにくいと思います。その意味では、ここに部長が来ていますが、それぞれの部、そして地域との関係でいえば市民協働課は連携をして、年に1回これをやっているというのではまずいですね。お話しのとおり、やっぱり最初ですから4シーズン、3カ月に1遍ぐらいはメンテナンスというか、リアルタイムでどこまで来ているかということを確認して連絡する。動いたもの、前と同じものと、上がった問題については1つ1つ、やっぱり3カ月に1遍ぐらいは確認をしていく。そんな作業をさせていただいて、連絡をさせていただきたいと思います。

そのほうが、進んでいなくても連絡が来ているというのは大分違うかと思えます。今お話を聞きまして、言っておりますで、あれから1年というのは非常にまずいなと、ましてや、2年も連絡がなかったという案件が今日ありましたから、そういう意味では3カ月が1つの目安かと。それできっちりできるかわかりませんが、連絡をするようにしたいと思っております。

## 地区連合会長

ありがとうございました。それで、今まで出した案件で回答いただいているものもありますし、尻切れとんぼになっているものもあります。でも、これはあくまでも継続性を持ってやっていきたいと。市で管理するに当たりまして、限界があるのではないかという思いもしております。今、市長が言っていたただけで、とにかくありがたいと思いますので、一応そういう方向で対応していただければと思っております。

これは恐らく町田市全体でそういう形の問題を抱えていると思います。ですから、22日、今度、市連の市政懇談会がありますので、そのときにまたどういう話が出るか。楽しみにしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

## 発言者不明

防災無線のことです。防災相模原の無線はよく聞こえるのですけれども、町田市の防災無線だけ聞きにくい。これは私だけではなくて、あらゆる方が

言っていらっしゃるのです。防災無線の回し方が悪いのではないかと思います。防災無線のボリュームもそうですけれども、連続しているから共鳴しているのです。それだと、この間のような氾濫で避難してくださいというのも、よく聞こえていない。相模原のほうは聞こえている。東京都町田市のほうは聞こえていないというのは、同じような設備を持っていて、それが伝わらないということになるわけです。そうしたら、どうやって逃げるのか。それがちゃんと伝わっているのか。先ほどもパソコンで情報をとるという方もいますけれども、高齢者の方はそういうことはできないわけです。そのときにはっきり伝わらないと逃げてもらえないということが1つあります。

もう1つは、この避難をするときに高齢者の方、先ほども出た避難所、皆さん高いところにあります。小山ヶ丘、小山中央小学校、小山中学校、みんな高いです。ところが、水がかかる川沿いの高齢者は、そんな高いところまで歩いて簡単に逃げられません。それに対して、どうやって高齢者を早目に逃がすかということの考え方をひとつ、この設備どうこうの前に、今後いろいろな川の設備をする前にそういう災害が来たときに、どうやって高齢者を避難所に運ぶかということを考えていただきたい。

## 防災安全部防災課長

今、2つご質問をいただきました。まず、1つ目は防災行政無線が反響しているということで、そういう声はこちらのほうにも入ってきます。防災行政無線は、屋外拡声子局という鉄柱が立っていて、そこでスピーカーが幾つかあったりすると、そのスピーカーを調節したりということは、やっております。反響してというのは、一遍に鳴らしてしまうと反響して聞こえづらいと言われるので、機械的にずらして放送しているというのもあります。ですから、その辺の調整はしてみたいと思いますので、ご理解いただければと。

あともう1つ、高齢者の方の避難ですが、確かに洪水とか水の場合は高いほうに避難していただくということがあります。先日の台風などは、進路予想とか今後何時間後に雨が強く降るとか、そういう予報もしっかり出ています。それに備えて、避難勧告とかをいきなり出すのではなくて、高齢者の方は早目に避難してください、あと、一般の方も準備をしてくださいという情報を今出すようにしております。ですから、雨がそれほど強く降っていないときでもそういう情報は流している状況です。

あと、追加で、今の防災行政無線が聞こえづらいということにつきましては、メール配信サービスというものをやっております。ピンクの紙を見ていただくと、左の下のほうにメール配信サービスです。あと、その下のほうにフリーダイヤルというものがあります。こちらに電話をかけていただくと、無料で放送した内容が聞き取れることになっていますので、そういうものを利用していただければと思いますので、よろしくお願ひします。

## 中村町内会

今日、市長が来るということで、市長からよく聞いていただきたいのです。協働推進課が今日は4人来ているのですか。

実は、うちの中村町内会長から連絡があったのですけれども、いわゆる自治会加入ということで、地区連合会長以下、小山連合は一生懸命やっておるのです。今日は、うちの中村町内会長から連絡が入りまして、実は私どもが、いわゆるのぼり旗を3本借りたのです。この春にさくらまつりがありまして、その3本を返してほしいと。私たちがこれから、実は小山地区は住宅地がどんどんふえてきまして、今も造成でやっているのですけれども、38軒ぐらい家が建ってくる。そこにのぼり旗を立てて、加入を推進しようということで、私たちは頑張っているのですけれども。

## 地区連合会長

のぼり旗は、連合会で新たに20本つくりましたので。

## 中村町内会

よくわかりましたので、今、会長のほうから話がありましたので。私ども、自治会の会員になるように一生懸命頑張っておりますので、市のほうもよろしくお願いいたします。

## ○閉会の挨拶（小山連合会会長代行）

本日は、石阪市長を初め町田市の関係者の方々、ありがとうございます。それから、小山連合の会員の皆さん、小山連合の役員の皆さん、ありがとうございます。

小山連合としては、私、ひもといてみたら、この5年間、境川についてのことと道路の件、交通関係が5年連続出ております。小山に来たらこの2つかなというぐらいで、あとはいろいろ変わっておりますけれども。

交通安全は個人がやはり守らなければいけない。個人の力でいろいろと守れます。ただ、飛び込みがありますから。つい先日も幼稚園の列に飛び込んだとか、小学生の列に飛び込んだというものは、幾ら守っていてもなかなか難しいところがあると思います。

それから、河川の氾濫とか地震。地震は個人で大体守れるのですが、河川の氾濫については個人ではどうしようもないわけです。川に土手をつくるわけにいかないのだから。河川については、二級河川なるがゆえに東京都と神奈川県との2つの自治体に関連して、市としては非常に難しいと思います。だから、いつになるかわからないというような回答が前にあった気もするのですけれども、それでは私たちの安心した暮らしができないものですから、ど

うか今日のいろいろな提案、回答、質疑の内容についてもう1度いろいろと精査していただいて、私たちの生活、安全と安心を守っていただけるような市政であってほしいと思います。

本日は2時間余り、いろいろと最後までありがとうございました。これをもって閉会の辞といたします。（拍手）

以上